

平成 22 年度事業計画

経済状況の回復の目途がたたないまま、新しい年を迎えて 3 カ月が経ちました。

労働市場においては、若者の就職率がバブル崩壊後の就職氷河期と言われた時代より落ち込み、高齢者の働く場を確保することも大変厳しい状況であります。製造業の業績悪化や百貨店、スーパーなど小売業の店舗の縮小・閉店のニュースも頻繁に報道されており、センター事業においても受注金額が減少していることは、残念ながら、経済の浮き沈みによって直接的に影響を受けてしまうことを表しております。平成 13 年から伸びていた事業実績もここ 2、3 年は大幅に減り、事業運営の財政基盤の安定ということからは若干の支障をきたしておりますが、このような状況であっても、会員の仕事に取り組む姿勢を高く評価していただきセンターに依頼をしてくださる利用者の方々に感謝し、「安心・丁寧・確実」に仕事を遂行することが重要です。

これまで以上に地域社会に必要とされるシルバー事業の確立を目指し、不況という風に流されずに前向きに取り組んでまいります。

事業計画

1. 会員・就業機会の確保

- (1) 公共・福祉団体に協力を要請し、会議・会合の機会を利用してセンターの説明会を実施し P R に努めます。また、関連団体行事へ積極的に参加し、パンフレットやチラシの配布を行い、広くセンター事業の普及を図ります。
- (2) ホームページでの情報提供の拡充、各種広報紙や地域新聞などを利用して会員募集と受注確保に努めます。
- (3) 役員を中心として、就業の継続や新規の就業機会を確保するために民間事業所への訪問活動を行い、また、就業機会創出員によるチラシのポスティングや訪問活動での入会促進や就業機会の拡大を図ります。
- (4) 会員の口コミによる P R は最も有効的な普及啓発活動であり、入会や仕事の受注に繋がる確率が高いことから、積極的に進めていきます。

2. 会員活動の充実

- (1) 会員組織の充実を目指し、多くの会員が参加し活動できるよう新たな職群班の設置や機能及び体制強化について見直しを図り、会員の自主性・主体性を推進します。
- (2) 利用者のセンターに対する評価も厳しくなっており、きめ細かなサービスに対応できるよう、接遇研修会や技術・技能講習会を実施し接客態度や仕事の質の向上に努めます。

- (3) 会員間の相互交流を深めるために、ボランティア活動による社会参加や同好会活動を支援します。

3. 安全就業対策

- (1) 安全就業の推進を図るため、安全委員による就業先への巡視を実施するほか、「安全・適正基準」に沿った就業が事故の未然防止に繋がることを会員へ自覚を促すため、総会や会報紙などを通じて働きかけます。
- (2) 会員は年に1回必ず健康診断を受診し、良好な状態で就業できるよう自身の健康管理を促します。

4. 適正な就業

- (1) ローテーションを組みワークシェアリング（仕事の分かち合い）を推進し公平な就業機会の提供と就業率の向上を目指します。
- (2) 受注内容の精査を図り、その執行に際して発注者への理解とともに、就業会員に対して関係法令遵守や社団法人会員であることの自覚を高めて就業してまいります。

5. 事業推進体制の強化

- (1) 国や市の補助金の見直しによる削減や不況による事業実績収入の減少により財源の確保が厳しくなると思われることから、事務経費の節減に努めると同時に、事務費・会費の自主財源の見直しについて検討を重ねて運営基盤の強化を目指します。
- (2) 全シ協、県シ連等関係団体主催の研修会に参加し、知識の習得や事務処理能力の向上に努め、効率的かつ円滑な事業運営の強化を図ります。
- (3) 公益法人制度改革による移行申請についての準備を速やかに進めるため、研修会に参加して情報収集を行い、また県シ連や他市センターの進捗状況を確認しながら、役職員における取組み体制を整えて検討していきます。
- (4) 理事会・委員会等においてセンター事業の問題や課題の解決・改善に取り組むため、会員からの意見を積極的に引き出せるような会議の運営を目指します。